

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 藤沢団地建替事業新築工事(駐車場棟)	階数	地上2F
建設地	藤沢市藤が岡一丁目13番	構造	S造
用途地域	1種中高層住専・準防火地域	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2015年11月18日
敷地面積	3,163 m ²	作成者	㈱長谷エコーホレーション
建築面積	1,516 m ²	確認日	2015年11月18日
延床面積	2,991 m ²	確認者	㈱長谷エコーホレーション

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.6</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 5.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.4</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周囲の自然環境を取り込み、自然と建築物、多世代が同じ空間に存在することが出来る空間を創造する。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・設備機器の更新必要間隔を高くする。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・自治体の景観計画区域基準に基づく色彩配置とする。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・壁で囲い込まず自然通風を行える計画とする。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・雨水貯留槽にて、雨水流出抑制を行い敷地外に対して配慮を行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される